

## 平成29年度 第3回

### 南丹市市民参加と協働の推進委員会 発言録

日時 平成30年3月29日（木）午後2時10分～

会場 南丹市役所 本庁3号庁舎2階 第5会議室

出席者 関谷委員長・秋田副委員長・古北委員・檀上委員

【事務局】中西地域振興課長・大秦課長補佐・久野主任

傍聴人 0名

#### 1. 開会

発言者	発言内容
事務局	定刻になりましたので、ただ今から南丹市市民参加と協働の推進委員会を開会いたします。委員の皆様には年度末なにかとご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 それでは、進行につきまして委員長様の方でよろしくお願いいたします。

#### 2. 意見交換

○ 市民参加と協働の実施計画について（2018年度版（案））

発言者	発言内容
委員長	それでは、次第に沿って進めさせていただきます。 まず、2番目の「南丹市市民参加と協働の実施計画について」（2018年度版（案））につきまして事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは、2018年版の南丹市市民参加と協働の実施計画について説明させていただきます。 お手元にお配りしております実施計画は、前期の計画が平成28年に期間満了ということで、今年度に三か年の計画を策定しまして、今年の年明けから各課に対して平成30年4月時点を想定した新たな計画に移行してくださいということで依頼し、取りまとめたものとなっております。今は取りまとめた事項について各課で確認をもらった段階です。この委員会で承認いただき、正式に平成30年度の計画にしていきたいと思っております。 事前にメールにて資料をお示しさせていただいていますが、変更点を中心にご説明させていただきます。 表紙につきましては、年を変えただけになっております。ページの並びについてもページずれを修正したほか大幅な変更はしておりません。 第一章につきまして、作成の方法に書いております通り平成29年度から31年度までの三か年の計画ということで、その二年目となっております。第二章の市民参加についても変更点はございません。こちらの章は、「パブリックコメント」、「審

	<p>議会・委員会等による調査及び審議」、「意見交換、公聴会、説明会、出前講座」、「アンケート」、「共同研究」、「市民との協定」、「その他」の7つの分類で構成をしております。「パブリックコメント」ですが、29年度中に予定していたものにつきまして、済んでいるものには【実施済み】と、実施時期の欄に記載しています。立地適正化計画につきましては平成30年度に実施予定です。6ページに示しています「パブリックコメント」の3つの事業について、2017年度の計画を作った段階でまだ予定していなかったものとなります。平成29年度中に実施したものが「南丹市人権教育・啓発推進計画（第2次）」と「南丹市定住促進アクションプラン」でございます、「第2次 南丹市男女共同参画行動計画」は平成30年度に実施予定でございます。次に、「審議会、委員会等による調査及び審議」ですが、公募を行っている審議会等の表に関して公募時期の欄に任期を追加しております。以前からご意見もいただいておりますので、任期と公募時期が一目でわかるように記載をしております。南丹市行政改革推進委員会ですが、任期が満了している状況です。その他については、公募時期・任期を記載しております点と、年度更新をしている部分に変更点となります。8ページの「現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等」の表について当初の計画では、「南丹市環境審議会」を記載しておりましたが、検討の結果「専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等」の表へ移動となりました。9ページになりますが「南丹市地域創生会議」を平成29年4月1日施行ということで、追加しております。以降、12ページまで変更はございません。13ページ「意見交換会、公聴会、説明会、出前講座」ですが、当初、35項目挙げていたうちの14項目めのマイナンバー制度については廃止をし、34項目となっております。「アンケート」ですが、「男女共同参画に関する市民意識調査」と「障害計画・障害福祉計画に関するアンケート」は実施済みとなります。「共同研究」の「学生が住み続けたくなる仕組みづくりの研究」は平成26年6月から平成29年3月まで行ったということで、実施済みです。</p> <p>17ページから第三章となり、「事業の委託」、「事業の共催」、「事業協力」、「事業に対する支援や補助」を項目に挙げています。「事業の委託」について、事業を並び替えたほか、利用者支援事業の概要を変更し、併せて事業を委託する団体の条件などの欄に子育てすこやかセンター内を追加しています。「協働（共催）」について、時期に合わせた事業の並び替えをしており、実施時期について更新しています。美山ふるさと祭につきまして、事業の概要欄に「南丹市美山支所」の文言を追加しています。「協働（事業協力）」について、「定住促進ガイドブックの作成」の実施時期を以前は平成29年度内としておりましたが、現在「検討中」となっております。「協働（支援・補助）」について、空き家掘り起し事業と空き家掃除お助け事業を追加しております。第4章の仕組みにつきましては、変更ございません。</p> <p>以上、簡単ですが変更点をお示しさせていただきました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。2018年度の実施計画について、委員の方からご意見いただきたいと思いますが、まずは私から少しご意見言わせていただきたいと思います。</p> <p>〇〇委員さんをご存じかと思いますが、新しい委員さんに就任いただく前の年度</p>

	<p>になります。市長に意見書を出しまして、いわゆる審議会や委員会の公募委員を拡大して欲しいという意見書をこの第三者委員会で出しております。こういった内容かといいますと、各審議会・委員会は原則公募制を採用してほしい、できるだけ公募制を採用していない委員会でもいわゆる市民、当事者たとえば、防災関係であれば市民が関係してきますから、そういった市民の声を入れてほしい。それから、あて職をなるべく減らしてほしい。委員会・審議会などの開催日時を、参加しやすい、例えば夜間・休日開催、参加しやすい会場にしてほしい、この4点について、この委員会で要望をまとめて意見書を出しました。その後、今日でおおよそ一年経ったことになるんですが、私も事前に事務局にお願いしておけば良かったんですが、この要望書がどのくらい、意見が反映されて、どう変わってきたのかを検証しておきたい。言いつばなしで終わってしまいますから、その点を検証したいと思っていましたが、事前のお願いもなく急なことで難しいかと思いますが、残念ながら、2017年の計画と今回の計画を見比べて公募委員が非常に拡大したということではないんです。その辺に関しまして、何かございますでしょうか。なにか、ここがこうなった。こういう意見があるかどうか。そういったことについて、聞いておられますか。</p>
事務局	<p>具体的に聞いているわけではないのですが、一つ気になりますのは、意見書提出の際に市長からご発言があったかと思うんですが、委員会なり審議会の成り立ちがあるので、すぐにとというのは難しいとおっしゃっていたのが、気にはなっているんですが。それを言い出すとなかなか公募制広げられないというのがありますけど、じゃあ公募制を広めますという声を聞いていないのが現状ということです。</p>
委員長	<p>ちょっと残念なのが、先ほど事務局から触れていただきましたが、環境審議会です。昨年度の計画では「現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等」に入っていた。目標公募人数1人。検討している欄に入っていたのですが、今年度は公募しないという欄に入っていて、公募を検討していたのが公募しないとなってしまったのは、意見書の立場からすると、意見の方向とは反対の方向になってしまっていると、そこが残念だと思います。一応理由が載っていて、「公募の採用を検討したが、専門知識を有する団体・個人を選任するため必要があるため公募は行わない」と書かれていて、確かに理由は全部それなりの理由があるんでしょうけども、公募導入を検討している方が増えるのであれば良いんですが、逆に1つ減ってしまい、別の委員会・審議会が追加されてもおらず増えていないということが残念だと思います。</p> <p>それから、公募を行っていない審議会についてですが、公募を導入していない理由と、受益者等当事者を公募することの是非についてという二つの欄がありまして、どちらも同じような欄だと思うのですが、折角、欄を設けておられますので、10ページから12ページ、受益者等当事者を公募することの是非についての欄に線が入っていて、非該当ということかもしれませんが、文言が書かれていませんね。やっぱり、こういう欄があって、こういうことの是非についてどう判断されているのかということでもまとめてられますので、やはり空欄じゃなくてなるべく欄を埋めていただくようにしていただいた方が良いんじゃないかと思います。これが</p>

	<p>二点目です。</p> <p>それからもう一点、8ページ「現在公募となっていないが、公募の導入を検討している審議会等」に3つ挙がっていて、前年度はここに「環境審議会」が入っていたんですが、それ以外の3つの審議会等は前年度も検討中という欄に入っていたんですね。だから、なかなか検討に時間がかかるのか、ちょっと厳しい言い方をしますと、検討はするという方向性は出しておられますが、検討に決着をつけていただけないと。折角、検討を始めていただいているんですから、意見書もありますし、前向きに検討いただきたいと思っています。要するに2年間に渡って検討中ということになりますので、是非、実現していただくという方向での意見を各課・担当部署に伝えていただきたいと思います。とりあえず、私の方からはこの審議会について以上となりますが、委員の方のご意見もいただきながら、その辺り進めていきたいと思っています。</p>
副委員長	<p>いま、委員長の言っていたように、意見書がどこに反映されているんだっというの、これを見ての一つ目の感想です。要点は、同じですが、とても、これは私個人の感想になるんですが、「専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等」があるじゃないですか。もちろん、そこで専門性を持って議論していただくのはもちろんですが、そもそも住んでいるのは私たち住民なのに、そこに入っていけないっていうのは、そもそもどうなんだろうと思うんです。専門性を有して、市民が関われない審議会がこれだけあって、一体どういう風に話が進められて、どう進んでいるのかっていうのが、一般市民にはわからない。興味があったとしてもわからない。そこが、市民との協働と言いながら、置き去りにしているひとつの代表格なんじゃないかと思うんです。確かに、専門的なことで一般市民が入ったとしても、訳が分からないかもしれない。でも、訳が分からなくてもいいんですよ。訳が分からなかったっていうのが、現状なんだっていうことを分かる人が一人いて、二人、三人と、広がって行って、じゃあどうということなんだって関心を寄せていくところからスタートしないといつまで経っても変わらないんじゃないか。って言うのが、正直なところですよ。いろんな審議会にも行かせていただいている、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会にも入らせていただいているが、あのメンバーで福祉計画したら高齢者の問題にしかならないよっていう。そういう審議会ばかりじゃないのっていうのが、正直なところで、審議会自体、役職でその団体の割り当てみたいなのがあったのは分かりますけど、ここでちょっとずつ変えて行こうってしていかないと、何年これをやっても変わらないんじゃないかって思うんです。折角の第三者委員会の位置づけの意味が全然ないんじゃないかっていう。そうすると、まちづくり交付金の審査会だけが、私にとってはやった感があるものになってくる。それはいかがなものかと。これは一体どうということなんだと。自分のこの会議への参加の姿勢はもちろんですけど、この会議のあり方とか、そこを本当に行政が必要としているのかどうかというのが、疑問です。</p>
委員長	ちなみに、その福祉計画の委員会で公募はされていないんですか。
副委員長	されていません。
委員長	もちろん、その委員会に限って言っているいいことではないですが、一例として経験

	を出していただきたい。その委員会に出られていて、市民の声が通っていないとか、是非こういったところは一般の市民が参加していた方が良くと思う場面はありますか。
副委員長	あります。特にこういう福祉計画はいかに地域と繋がって網羅して吸い上げていくのかっていうものなので、ここにこそもっと市民が入ったら良い。振興会の代表の方とか、地縁団体ばかりで、高齢者の皆さんが多くて自分が若いくらいですよ。もう50代になりますよ。それじゃあダメなんですよ、もっと20代、30代がいないと。
委員長	地域福祉ですから、子育ても入ってきますしね。
副委員長	そうです。全然入ってないよってすごく思いましたし。あと、自分が関係しているところであれば、子ども子育て会議も、公募していらっしゃいますので、5人くらい30代の若いお母さん方も入ってくるんですが、やっぱり役職のあて職で入ってこられてしまうと、まったく意見が出ないんですね。それで税金使っているのはどうなんだって思って、話を振りますけど。もう少し考えないともったいないなっていうのと、あと、この間は保育園の問題で、老朽化も進んで、建て替えの案が出てきたんですけど、その案が出てきた時に、これは誰がどこでどうやって決めたんですかって聞いたんですけど、やっぱり部長クラスで決めましたって。いやいや、これに市民が入らないと全然良いものにならないからって言って、前回の会議で意見を言わせてもらって、明日また会議があるんですけど、そこに市民を入れることにしましたっていうのも全くないし、子ども子育て会議で認証をいただきましたって言う、報告書じゃないですけど、それが添付されてきて、いやいや違うでしょっていう。本当に置き去りだなっていうのが、このところずっと続いたので、この場だから言わせていただきました。
委員長	子ども子育て会議は公募5名となっていますけど、実際5名出ておられますか。
副委員長	はい、出ておられます。幸いなことに私たち子育ての広場をやっているので、お母さんたちに声をかけます。いい機会だからぜひ出てくださいと。
委員長	それは良いですね。以上のような意見もありましたが、他の委員さんいかがでしょうか。もちろん、審議会等への参加のみが市民参加とか協働ではないんですけど、やっぱり、目に見えて市民参加とか協働っていうのが非常に形として表れているものですから、やっぱり目に見える部分からでもどんどん進めていかないと、なかなかお題目だけで変わらないんじゃないかってのもありますので。ですから、先ほど私も触れましたけど、公募を検討しているとしている委員会ですね。ぜひ、早急に対応いただきたい。検討しているということは、公募することを前提として検討しているという風に思われるんですよ。そうでなければ、挙がってこないと思われまますので。だから、検討するんだったら、一人でも二人でもどんどん検討して、公募委員を入れていただくということを要望したいと思います。検討されているのが、ただ二年も三年も検討していると、結局どうなんだろうっていうことですよ。ちょっと語弊はありますが、お題目だけで実際は導入しないということになってしまいますからね。
副委員長	福祉計画の推進委員会には今年度入りましたけど、意見書出したけどこれなんだ

	な、っていうのが感想で、ちょっともの寂しいなっていう。
委員長	<p>公募を導入検討している委員会がどれも重要じゃないですか。地域公共交通、文化センター運営、放課後児童健全育成。全部、住民・市民に参加してもらって、議論してもらふ必要があるんで、導入検討をされているんでしょう。検討されているんだったら、早急に実現していただきたい、ということです。</p> <p>このことに関して、他の委員さんからご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>この数年、協働と言う言葉がよく使われるようになり、大学でも教職協働と言って、うちの大学も会議ばかりやっているんです。ただ、思ったんですけど、各推進委員会、例えばこの会議で協議したものが、どういう形で上に上がっていかって図はあるんですか。関係部署に調整お願いしますねってことで色々言っているんですが、この推進委員会、各会議の目的っていうのは設置する当初から決められていると思うんですね。それなら、ここでの検討事項は、例えば南丹市の中のこの部署、この部署のなんとか会議に毎月報告は挙げますよとか、全会議について、協議事項は上に上るような組織になっているんですか。</p>
事務局	<p>そういう形ではないと思います。今回の場合は、市長に意見書を提出して、その後この第一回の会議で委員会関係の担当課である情報政策課の回答を読み上げさせていただいたところではあるんですけど、だいたいは、それぞれの審議会に担当課がありますので、それぞれにお伝えをさせていただいているということになります。</p>
委員長	<p>今の話で言うと、意見書が出たら、例えば市長の方から各部局、部課長さんにこういうことを周知・徹底いただく必要がある。そして庁舎全体の職員さんに公開して、こう言うのが出ているよだけでも情報を示していただかないと。それこそ事務局が個別に聞いているだけでは、意見書を出しても結局個別に調整しているだけということになりますからね。だから、話としてはトップダウンで示していただかなくてはいけないんじゃないかなと思います。</p>
事務局	<p>意見書の方は、提出先の担当が情報政策課になりますので、そこから各課についております。それと別で、事務局からどうなっていると聞いた。そういうことになります。</p>
委員	<p>浸透していつてないように見える。意外と、他の審議会に行ったらそういうお話が出てくるかも知れないなと思いましたので。</p>
委員長	<p>他の審議会で、このような意見が出ているよということが、どの程度承知されているのか。昨年も議論しましたが、全て完全に公募しろとは言わない。確かに、いろんな個人情報等で無理だということはあるからね。それでも入れられるところは極力入れてほしいなと言うのが趣旨ですから。それほど、シークレット情報ばかりっていう風に思ってしまうからね。</p>
副委員長	<p>10ページの健康づくり推進協議会と健康増進・食育推進計画策定委員会について、「現時点での公募による委員の選出は行っていないが今後公募を考えていきたい」って書いてあるので、これは公募の導入を検討している審議会等の分類に挙げましょう。</p>
委員長	<p>せめて、この計画書だけでも欄をきちっとイメージしていかないと。形から変え</p>

	ていかないとなかなか変わらないです。
副委員長	それこそ、はっきり公募は考えていないと言うところ以外は、公募の導入を検討しているの分類に挙げていくくらいじゃないと。
委員	先ほど、〇〇委員が仰っていたように、私は、直接審議会に出ていないですけど、会長にお話をお聞きすることはあるんですけど、審議会に出られる方の専門性を有することが公募できない理由にも関わらず、分野の専門性のある方が出ておられる訳じゃなくて、その地区の代表であることが専門性となっている、「あて職」、そこが疑問に感じる。やっぱり地域のことを反映しなければならないって言う、広い意味での専門性なのかも知れないですけど、そこをもっと具体的な専門性、先生方も入っておられるとは思いますが、もっと広い意味で住民の視点に立った時に、いろんな年代の方が入っておられるとか、そういうことも重要視していかないといけないと思う。やっぱり公募だと偏ってしまう可能性もあるので、偏ってはいけない審議会については、もう少しうまく、男女の比率や年齢についてうまく分けていけるような形でないと、本当の意味で住民の意見が反映されない。
委員長	今、良いこと言われた。まさに、男女比はどうなっているのか。それをぜひ調べていただきたい。男女共同参画を謳っているんだったら、できるだけ対等な形に、実際無理だとしても、男女比の比率を変えて行くようにしていただかないといけないですよ。実際の各委員会の構成員がどうなっているのか、可能であれば調べていただきたい。
事務局	人権政策課で定期的に調べていますので、情報提供を依頼します。
委員長	年代と男女比について、差支えない範囲で表にまとめていただきたい。
副委員長	やっぱりあて職になってしまうと、発言もしてくださるんですが、自分の地域のうまくいっていることのアピールだけ、団体のアピールだけになっている。そうじゃなくて、全体的に見て南丹市をどうしていこうって話をしているんだけどなと思うんですが、いたずらに時間が過ぎてしまってもう会議終わりですとなる。そうして肝心なところは審議してないじゃないかってことが、どうしても多々ある。
委員長	地域代表もそれなりに意味がある。それがいけないとは言わない。だから構成比を変えてくれるってことですよね。だから、地域代表も参加するし、一般市民も参加するという風な形になっていけたらと。
副委員長	色んな視点を持っている人が参加できたら嬉しい。
委員長	その辺をどのように取りまとめましょうかね。また意見書でも出さないと、なかなか進まない。出しても放っておかれるってこともあります。ちょっと、当委員会として取りまとめて、そういう意見が出たんだってことを、議事録にするとかして各部署に伝えていただかないといけない。どうですかね。
事務局	まず、受益者等当事者を公募することの是非の欄について、事務的な部分もありますので、担当課にそれぞれ教えてもらうようにします。次に南丹市健康づくり推進協議会と南丹市健康増進・食育推進計画策定委員会、南丹市行政評価推進委員会、南丹市有線テレビ放送番組審議会、南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会は導入を検討していると読めますので、公募委員の導入を検討している団体の欄に挙げていきます。男女比は人権政策課が情報を持っていますので提供依頼し

	ます。年代も打診してみますが、人数の多いところは時間がかかるかも知れません。
委員長	それ以外にご意見ありましたら自由にご意見をいただきたいと思います。 私から、細かいところなんですけど、15ページの「アンケート」につきまして、4つ載ってしまっていてそのうちの男女共同参画に関する市民意識調査は2017年度の計画には載っていませんでした。それで、急に出てきてもう実施済みということなんですね。もちろん載っていたのに急に消えたというのは困りますが、載ってなかったものが出てきて、しかも実施したということは、何か、急な理由なりがあったんですか。もちろん、実施されたことに関していけないということではないんですが。あらかじめ、調査予定が分かっていたら、載せて頂いていた方が良かったと思うんですが。
事務局	計画を作る段階で、予定がなかったのだらうと思います。
委員長	で、急にすることにしたんですかね。
事務局	じゃないかなと思います。今回追加してこられたような形で。理由まで確認ができていないんですが、2月に取りまとめた時点で予定がなかったのではと思います。
委員長	私の方からもう1点ですが、20ページ「協働（事業協力）」のところで、定住促進ガイドブックの作成が検討中とあるんですが、これ昨年度の計画では2017年7月以降に実施するという記載になっていたんですね。これが、検討中ということに変わっているんですね。いろんな事情があったかと思うんですけども、やっぱり定住促進って地域にとっては大事なことなので、検討中じゃなくてもっと具体的に期日を決めてどんどん実現してほしい。定住者に対する一定のガイドブックでしょうから、すごくこれは大事なことでしょね。冊子を作るんですね。これも、検討中でなくてもっと具体的に進めていただかないといけないのかなと思う風に思いました。 そのほか、委員の方からご自由に計画内容に関しましてご意見いただきたいと思っています。
副委員長	15ページの「アンケート」のところで、学生アンケートって何を聞くんですか。定住促進のためのものですか。「共同研究」のところにある学生が住み続けたいくなる仕組みづくりの研究とリンクしているのかなと思ったんですが、実施時期がずれているので繋がっているわけではないんですね。
事務局	学生アンケートは市内にある大学なり的高等機関に対して毎年行っているものです。学生が住み続けたいくなる仕組み作りについては、委託事業で学生ポイントについて研究をされたというもので、それぞれ別ものです。実物を見ていただいた方が分かりやすいと思うので、追加資料をお持ちします。
委員長	アンケートを毎年行っているということは、だいたい同じような内容を定期的に調査しているということですか。
事務局	そうです。
副委員長	そのアンケートが何にどう反映しているのかっていうところが、不明瞭。
委員長	結果は公表されているものですか。
事務局	していたと思います。内容としては、これが欲しい、こういうのがあればとかそういう言ったことを聞く内容となっています。



委員長	居住していなくても在籍している人が対象なんですね。
事務局	そうです。
委員長	その他、ご意見ございますか。
事務局	事務局から伺ってもよろしいでしょうか。13ページの出前講座につきまして、34テーマあると説明したんですが、実はニーズが少ない感覚がありまして、こうやって挙げているんですが、住民側としてこういったテーマが望まれていないというものがあれば教えていただきたい。
委員	市民が出前講座自体を知らないと思う。
委員長	今年度の実績は、どのような感じなのですか。
事務局	今年度の実績はこれから聞くことになります。前年度でしたら、1年で10件あるかなかったかくらいです。それ以前は1桁の年もあったかと思います。
委員長	市民が知らないんでしょうね。これに対する広報・PRは何かされていますか。
事務局	HPくらいです。
委員	それは見ていないですね。市が出前講座をしてくれるというイメージが住民の方にはないので、だからじゃないかなと思います。いろんな団体であったりだとか、組織に対してこういったものがありますと実際にお見せする方が良いかと思えます。HPだとわざわざ検索しないと誰も見ないので、年度初めにでもぜひ活用してくださいという意味で、市側から積極的に広報していかないとみなさんご存じないので、利用されないんだと思います。
委員長	これを希望される団体の基準や条件はあるんですか。
事務局	個人に対しては行っていません。人数の条件もありますがそれを下回っていても行う時はあります。
委員長	地域の振興会や協議会なら、ぱっと依頼できるし、それ以外の個人のグループとか形になっていないメンバーで要望するというのはなかなか要望しにくいですよ。これはHPから応募ができるんですか。
事務局	HPから応募様式をダウンロードするかたちになります。日にちの調整がありますので、候補日を3つほど入れてもらったりとか。
委員長	HPから直接応募ができると大分違うと思います。14ページに並んでいる内容はすごくいいじゃないですか。バラエティに富んでいて。ぜひ、聞いてみたいという人もいるんじゃないですかね。
委員	10件でも依頼があるんであれば、その様子をお知らせ南丹とかに載せて、写真で具体的にイメージを与える方が良いでしょう。漠然とこんなことを話しますではなく、具体的にこういうことをっていうのが、HPとかで分かりますか。14ページの記載だけだと漠然としすぎていて、自分がそれに該当するかわからないかも知れない。
副委員長	グローアップでは市の子育て支援の説明をスタッフ研修に利用しています。
事務局	(学生アンケートについて追加資料配布)
委員長	これは各大学に依頼して、どういう学生にアンケートを取るかは大学に一任されているんですか。あるいは何人以上、何人くらいっていう風に条件があるんですか。
事務局	おそらく、1100人ほど回答とあるので、大学の皆さんに配っていただいている

	かと思えます。
委員長	学生力を発揮していただける場所や仕組みづくりに活用しますと書かれていますね。
副委員長	なにか、このアンケートに基づいて具体的になされたんですかね。
委員長	「どのような活動に」って項目は、もうちょっと具体的に何に参加したのかが分からないと書くのが難しいかも知れませんね。 これも含めて、どなたかご意見いただきたいですが、いかがでしょうか。 一点、前回の委員会でモノ支援の仕組みを作るという話が出ましたが、この計画には反映されていないですか。
事務局	予算のことでいいますと、当初予算では上がりず、6月補正で上げるようにということになっておりますので、予算が通りましたら第3章の「協働（支援・補助）」の部分に事業名を追記するか、今のところ24ページに挙がっていますが、第4章の「ひと・もの・コトをつなぐ仕組み」に反映させるかで想定しています。
委員長	そのほか、いかがでしょうか。
委員	今年、総合振興計画にビジョンマップの作成があったじゃないですか。あれって、どこかに記載されているんですか。あの企画って大きく市民参画のある行政の計画だったかなと思うんですけど。資料を見るとどこにあてはまるのかと思ひまして。 なぜそれを言ったかと言いますと、実はかなり、市の総合振興計画に関わることであれだけ大きく打ち出しておられたにも関わらず、市民の参画が思ったより少なかったんじゃないかって印象がすごく強いんですね。外部委託されて、広告も入れられていたと思うんですけど。今後の重要な市の政策に関わる計画じゃないですか、それに市民が参画していますと言っている割には、あまりにも参加が少ないっていうのは、もう少し何らかの方法で参加してもらう方法が取れたんじゃないかと思ひまして。最後、ビジョンマップのお披露目会の時に、他の方も言われていたんですけど、結局その参加されていた方は行政に関わりのある方であったり、私もそうですけど地域活動を何かしらされている方にはお声がかかって参加をされたような形で、なかなか一般市民が自分たちが本当にこの市であったり行政に関わっていく機会を知らないままに、進んでいってしまっていて、すごくいいチャンスだったのに、そのタイミングを逃している方がたくさんいらっしゃるんじゃないかなって印象を受けたんですね。で、今回私もこの会に参加させていただいて、よりこんなにも一般の方が参加できる機会があるにも関わらず、まだまだ一般市民の方に届いてないっていうのは、申し訳ないんですけど、そこでもう少し手が打てることあるのに、できていない、足りていない部分があると言わざるを得ないと思うんですね。だから、今年のビジョンマップとかの計画は特にもったいなかったなという印象が強かったですね。
委員長	マップ作成のメンバーは公募ではなくお声かけで集められたということですか。
委員	だれでも参加してくださいという形です。チラシが入っていて、お知らせでも載っていましたが、全戸配布の広告でも入っていたんですけど、なかなか住民の方ってペーパーを一枚見て「じゃあ私も参加できるんだわ」って印象にならないんですよ。南丹市の場合、自分たちが市を変えて行くんだって住民意識が低いと思うん

	<p>です。で、参加の機会として審議会・委員会で一般公募の方を増やしていくのは、一つのきっかけだとは思いますが、その意識レベルを上げていくことを何かしら積極的にしていかないと、「さあ、どうぞ」って言って急に市民の意識は変わらないですよ。だから、やっぱりもう少しいろんな方法を取って、どんどん本当はこんなことにも参加できるんですよって機会を作っていかないと難しいなと思います。私も知らなかった分、反省も含めつつ、実は南丹市がどんどん市民の方の一般参画を広めて行っているんだっていうことを周知していく努力を続けていかないとダメなんだなってことを感じています。</p>
委員長	<p>5ページの総合振興計画で平成29年度中に実施済って記載は、そのマップを作ることを含めて実施済みということでしょうか。</p>
委員	<p>5ページは「パブリックコメント」について書かれていることなので、パブリックコメントに関わる部分のみのことなのは。</p>
委員長	<p>でしたら、パブリックコメント以外のところで、協働の実施計画に欄を作っただけで、各種の計画で市民参加をしているものを表にして載せていただかないですか。これだと、パブリックコメントだけの話で終わっていますよね。そうではなくて、市の計画の中に、公募なりなんなり参画させているものを挙げていかないと、何があるかわからないですよ、そもそも。</p>
副委員長	<p>それこそ、あれは審議会でもないし、計画に挙げるまでの意見吸い上げの場ですよ。でも、それも正しく市民の協働であって、それがこの資料の一番前に書いても良いくらいなんです。ワークショップの意見も入れながら、こういう形で進めて行った。でも、実際は市民の参画が少なかった。はたして情報が市民に届いていたのかどうか、さあ、市民のみなさんの意識はどうでしたか、っていうような、そういう提言もふわっと載せても良いかと思うんです。</p>
委員	<p>逆に市民の方に、こんな機会があったのに参加していなかった。それは市民の方の意識の問題でもあると思うんですね。決して行政だけでなく。だから、お互いに考えて歩み寄っていかないといけないですよ。これだけ門戸広げて進めているから、やっていきましょうってことを市民の方にアピールっていうか、PRしても良いんじゃないかと思います。</p>
委員長	<p>そうですね。このパブリックコメントの部分に載っている計画っていうのは、だいたい計画策定のための委員会なりが作られて、そういった計画が作られますからそのプロセスで必ず市民が誰か参画しているはずですよ。有識者プラス市民が。公募かどうかは別として。なので、事業が被っても良いので「行政計画に対する市民の参加」という欄を作っただけの方が良いんじゃないですか。ページが増えるかも知れませんが。</p>
副委員長	<p>でも、そこが大事ですよ。</p>
委員長	<p>それから、ここに載っているものはほとんど平成29年度実施中ですけども、例えば南丹市立地適正化計画とか、第2次南丹市男女共同参画行動計画、これは来年度の実施ということですので、市民の公募なり募集なりがあるという可能性が有りますよね。これこそアピールして載せておく必要がありますよね。ですから、パブリックコメントについて、これはこれとして、これよりも前に行政の計画立案に対</p>

	する市民参画みたいなどの欄を作っていたきたいですけどね。
委員	学生アンケートとかも毎年協力させていただいているんですが、例えばアンケートの結果こういうことになりましたよって学生にねフィードバックできたらありがたいですね。大きいことじゃなくて良いんです。みなさんの意見でこうなりました。とか、そういうものをやったらですね、書いたことに対してこうなったんだ。ってできればいいですけど、今は書けって言うだけになっている。
委員	もっと具体的に書いてくれるかも知れないですね。
委員	うちの大学の一つの例としましては、市民の健康というものを踏まえて情報センターと組んで例えば熱中症予防のコンテンツを作ったりしてケーブルテレビに流そうとしているんですけど、やっぱりもうちょっと南丹市のケーブルテレビだったら、必要だと思ったら来てくれて、イベントの件でも大々的に言ってもらったり、流してもらったりっていうのも可能なかなと。で、意外と見ている人もいるからね。うちの食堂が出た時にかなり反響があったので。公開講座をもっとやろうと思ったんですけど、やっぱり来られない人もいっぱいいるんで、ケーブルテレビと組んで来週くらいからいろんな疾病に対してのコンテンツを作って流していこうとしているんですけど。市でもこういう大きいイベントがあるのであれば、もっともっと広報すれば来てくれるんじゃないかと。
委員長	この計画の項目にね、ケーブルテレビの協働事業に関しては載らないんですかね。載せられないんですかね。ケーブルテレビは直接の市長部局ではないですもんね。
事務局	別組織、別法人となります。
委員長	こんなことやっているっていうことが載っていればね、こういう便利なことをやっていますよと示すことができる。
委員	結構見ておられるんですよ。60代とか70代の方は。
副委員長	それこそ審議会とか行政が主で、ケーブルテレビは第三者で違うんですけど、私たち市民から見たら一緒なんですよ。だったらもう、良い成功事例みたいな感じで、ケーブルテレビと各大学でこういう番組を作っているとか、どんどんアピールに使える。それだと、市民がもっと身近に感じて、そういう所からもっと他のところに行ったらいいので。そういった切り口になっていっても良いのかなって思います。折角の卒業式、入学式、同じのを流すのはもったいないね。でもあれば、職員さんが少なくてあんならざるを得ない訳だから、一緒に協働で学生さんがカメラ回して、それをそのまま流してくれるんだったら、それこそいい協働で南丹市のアピールだし、学生たちにも市を知ってもらう機会だから、そういうのをアピールできればいいんじゃないかな。って。それこそ、これを撮るより良いかもしれない。
委員長	第三章の協働の下の方に、参考という形でケーブルテレビとのコラボも載せておくことはできないんですかね。
委員	小中学校の入学式を撮影しているのは市とのコラボじゃないんですか。
事務局	あれは学校の先生が撮影をして提供をされている。
事務局	地域の行事なんかも自分たちで撮って持ち込んだら、放送してくださる。
委員長	資料の「情報の積極的な発言」のところに記載してはどうか。ケーブルテレビと

	<p>のコラボとか、情報発信として簡単で良いのでつけてはどうか。行政本体ではないので、別枠の参考という書き方になると思うが、この資料を見たらどんなことをしているのか大体のことがわかるという計画なので、参考という形で作っていただいても良いのかなと思います。</p> <p>その他、なにかございますでしょうか。</p>
副委員長	<p>「第4章の仕組み」の部分で、まちづくりデザインセンターが中間支援としていろいろしてくださっている。もう少しその成功事例とか、こういうことが実際にできたということを、資料の中でもアピールして欲しいなと思う。実際、いろいろやっているが、市民の目には届きにくいのでいろんな意見がでてしまう。</p>
事務局	<p>どこかの部分に追記をいたします。</p>
委員長	<p>まちづくりデザインセンターは今年も活動されますよね。予定とか、計画まで載せるのは難しいかも知れないが、実績くらいは参考として載せておくと分かりやすい。</p> <p>大分、ページを増やしていただく必要がありますが、今まで出た意見で「パブリックコメント」より前のページに各種計画・協働参加状況を追加していただくなり、まちづくりデザインセンターの実績をつけていただくなり、可能であるならばケーブルテレビのことを参考に付け加えていただくことを是非よろしくお願いします。</p> <p>そのほか、実施計画に関するところで、何かございますか。</p> <p>また、気付いたら言っていたらと思いますが、とりあえずこの実施計画に関するところでご意見をだしていただきましたので、取りまとめは大変ですけども、少し修正なり加筆修正を図っていただきたいなと思います。</p>
副委員長	<p>あと一つ、すいません。22ページのモノ支援のところ、色々挙げてあるんですけど、社協さんも結構貸し出しをしてくれるんですけど、それは別物ですか？</p>
事務局	<p>前回ご欠席の時に、ちょうどその点をご紹介させていただいてまして、デザインセンターと社協と当課で色々な団体さんがお持ちの貸し出し可能物品の情報を集めて、みなさんにお知らせして貸し出しが広まる仕組みづくりを進めています。ここに載るかは別にして、リストとか連絡先を冊子化してお知らせというのを検討しています。平成30年度に形にしたいと思っています。</p>
委員長	<p>それでは、ひとまず「南丹市市民参加と協働の実施計画について」（2018年度版）に関するご意見・協議は以上とさせていただきます。また、いまの意見を反映していただいて、修正なりよろしくお願いします。</p>

### 3. その他

発言者	発言内容
委員長	<p>つぎの議題ですが、協働に関するところでどんなことでも結構ですので、何か委員の皆さんでご意見なり質問なりありましたら、ご意見をお願いします。何かございませんでしょうか。ご意見ということでなくても、感じられていることでもいいです。たとえば、前回〇〇委員さんからは女子サッカーの全国大会出場など、スポーツクラブ出場の際に地元の応援をいただいたということがありましたけれども、みなさんのお仕事とか市民活動において感じられている点、ご意見などがございま</p>

	したら出していただきたいと思います。ご自身に関することでも構いません。
委員	協働という意味で、「産学」、まあ「官」もあるんでしょうけど、南丹市でどうい うものが資産というのか、そういったものになるのかが分からなくて。市内に JATOCO さんがいますね。あそこ今度、連携を結ぶことになって、そこで JATOCO さんとしては怪我とかした時の対応とか、心肺蘇生とかっていうのをや ってほしいということで、今2回くらい協議をしているんですけど、そういった意 味で南丹市、結構あるんですよ。で、僕も聞いた話ですが、南丹市のどこかの工 場で作られている下着を身に着けると、その下着から心拍数などが全部とれるよ うになる。そんな会社があるんですか。その下着の工場が南丹市にある。人からど こにあるんですかって、僕地元だから聞かれたんですけど、全然わからなくて。市 の方では聞いたことありませんか。
事務局	初めて聞きました。
委員	そういう所があるのであれば、僕らも一回行ってみたいと思うんです。いや、 そんなところでね、協働なり例えば地域の方々もいろんなところで南丹市の財産と いうか、そういうものをもっと盛り上げられたりもっと使わせてもらったりとい うのもできるんだろうなと。それが全然見えないなと。すごいらしいですよ。有名。 新聞掲載されたものを見せてもらったんですけど、この南丹の新聞では載ってない かも知れないけど、大阪の人が南丹市すごいのがきたんだなって仰ってました。
委員長	仰っていただいたように、企業とか事業所さんとのコラボも協働ですから、そう いう意味では企業の方の委員さんも今年度は残念ながらまだ出ていただいていな いので、是非そういったことでお互いにコラボできそうなことがあればね、どん どんいい形でやっていければいい。
委員	たとえば企業さんと学生がコラボして仲良くするとかね。よく学園大さんがやっ ていますけれども。そういうのも、生まれてくる可能性がありますよね。 ただ、どういう企業があるのかっていうのは誰も知らないからね。僕も知らない し、学生も知らないという。
副委員長	南丹市、結構マニアックな企業が実はあるんですね。
委員	すごく有名みたいです。知っていたら教えて欲しいなと思ひまして。また情報 があれば教えてください。
副委員長	そういうのって何課の担当になるんですか。
委員	商工観光課だけれど、教えてくれるんですかね。
委員長	商工会で把握していないと分からないかも知れないですね。個人事業でやって いたら分からないですよ。 そのほか、何かございますか。なければ、意見交換はここまでとさせていただきます。 そうしましたら次回の開催日程をお願いします。
○次回日程について	
発言者	発言内容
事務局	平成30年度第1回の開催予定時期につきまして、昨年度は第1回が7月18日 でしたが、例年より遅めの時期でありましたので、例えば市民提案型の審査会が5

	月末頃にありますので、今年は未定ですがその結果を受けた6月中旬頃はいかがでしょうか。4月下旬頃に日程の照会をさせていただければと考えております。
委員長	<p>予定しておりました協議内容については以上ですが、他にご意見などはございませんか。本日、委員のみなさんから出された意見を参考に、市の方で検討していただければと思います。</p> <p>特にご意見等がなければ事務局へお返しいたします。</p>

#### 4. 閉会

発言者	発言内容
事務局	<p>委員の皆さま、貴重な意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。本日のご意見を踏まえ、さらに市民活動が活発化するような取り組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして、南丹市市民参加と協働の推進委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>